



秘書ってどんなお仕事をのするの？

企業や団体のトップや重役が本来の仕事（経営や運営）に専念できるように、総合的にサポートします。

仕事内容は幅広く、オフィス業務全般にわたります。ビジネスマナーはもちろん、企業・業界の幅広い知識が要求され、臨機応変な対応や細かい心配り、高いコミュニケーション能力が不可欠です。また、メディカル（医療）秘書には、医学・医療の知識や、医療関係者と患者さんの橋渡しができるコミュニケーション能力が求められます。



01

スケジュール作成・管理

秘書として重要な基本的業務です。上司の会議や取引先訪問、出張などのスケジュール作成と管理を担い、上司の仕事の能率アップをめざします。

02

社内外との連絡や来客応対業務

上司に代わって電話やメールに対応し、来客に対応します。的確な判断力とビジネスマナーや言葉遣いでホスピタリティ（おもてなしの心）を表します。

03

情報収集・管理と資料・文書作成

上司が求める情報を収集し、分かりやすい資料や文書にまとめてきちんと管理します。ファイリング技術や文書作成・管理能力、PCスキルが必要です。

04

冠婚葬祭などの社交業務

お祝い事や悲しみ事に際して伝えたい気持ちを、礼儀正しく心を込めた形に表して相手に伝えます。儀礼を重んじ、良好な人間関係作りに努めます。

05

予定外の事態にも臨機応変に対応

緊急の仕事や突然の来客、上司の急病など、予定外の事態が発生することもたびたびです。どのような場合も、臨機応変に適切に対応できる力が求められます。

活躍の場は……あらゆる職場に広がっています。

事務全般をこなす能力があるため、国内および外資系企業のほか、教育機関、法律事務所、病院、金融機関、空港、小売店など、あらゆる職場で活躍できます。

Interview

企業と共同開発し、 企画から販売まで行った “やまとなでし香プロジェクト”

—やまとなでし香プロジェクトとは何ですか？

山下 伝統産業の「堺線香」を若者向けに拡販するための企画・製造・販売プロジェクトで、老舗企業の奥野晴明堂様にご協力いただいています。

川島 「せっけんの香り」がするお香を作ったらテレビやラジオで紹介され、堺市にある百貨店堺 北花田阪急では140個が完売しました。

—やまとなでし香に参加したきっかけは何ですか？

山下 高校時代にオープンキャンパスで訪ねたときです。先輩たちが仮想会社「やまとなでし香 Co.LTD」を設立して「社長」「部長」と呼び合って取り組む姿に驚き、大変興味を持ちました。

川島 私もオープンキャンパスで対応してくださった先輩たちのお話を聞いて、とても楽しそうで、入学前から参加したいと思っていました。

—やまとなでし香プロジェクトで苦労したことや解決したことを教えてください。



山下 みんなの好きな香りを知りたくて、勇気を出して駅前一般の方約100人からアンケートをとりましたが、調査結果は不明瞭。事前準備が不十分だったのが原因で、「失敗から学ぶってこういうことなのか」と反省しました。

川島 価格設定でも悩みました。販売数と利益のバランスが難しく。結局は前年より100円下げて、代わりにセット販売やノベルティをつけるなど、工夫して販売数を増やしました。

—この経験を今後どのように活かしていきますか？

山下 プール学院に進学したからこんなに楽しい経験ができたと思います。将来、接客業に就いて学んだことを活かしたいですね。

川島 やまとなでし香のおかげで販売職を目指すようになりました。お客様一人ひとりに合った商品を提案して買っていただく、そんな仕事ができる販売員になりたいです。



山下 莉奈さん

秘書科 1年次生
大阪府立懐風館高等学校出身



川島 由夏子さん

秘書科 1年次生
大阪府立美原高等学校出身
(本学客員教授)



(株)奥野晴明堂
奥野 浩史 社長
(本学客員教授)

グローバル社会の中、伝統工芸品は衰退期に入っております。大阪府の伝統工芸品である堺線香もその一つであり、我々線香に携わる者としてどのように啓蒙していくか、が課題であります。このプロジェクトを通してプール学院の学生と共に学ぶことにより、仕事では得られない新しい発見ができ、学生たちと共に弊社自体が成長していると感じております。これが本当の「共育」だと考えます。